

# 令和3年度 北海道開発事業費 要望概要

## 要望の基本的考え方

新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態措置により、道内経済に極めて深刻な影響が生じているほか、急速な人口減少の進行に伴う産業の担い手不足などにより、地域の暮らしや経済などの幅広い分野で活力の低下が懸念されている。

また、平成30年北海道胆振東部地震をはじめ、近年頻発・激甚化する大規模自然災害から道民の生命と財産を守る社会資本の強靱化や、今後一斉に更新期を迎える社会資本の老朽化への対応など、社会資本整備を取り巻く様々な課題に直面している。

道としては、こうした課題の解決や我が国の経済成長に貢献するため、交通・物流ネットワークや力強い農林水産業の確立に向けた基盤の整備を進めるとともに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」において実施してきた事業をはじめ、防災・減災対策や社会資本の老朽化対策、耐震対策など、「新・ほっかいどう社会資本整備の重点化方針」に沿って、限られた財源の中で社会資本のストック効果を最大限に発揮させるために必要な予算の確保を目指す。

## 国費要望額

令和3年度 国費要望額 2,220億円 (対前年度比132%)

単位：億円

	令和3年度 要望額 (A)	令和2年度 予算額 (B)	増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
北海道開発事業費	2,220	1,680	540	132%

※端数処理の関係で合計と内訳、要望額・予算額と対前年度比が一致しない場合がある。

※令和2年度予算額には、臨時・特別の措置分を含む。(179億円)

要望額の詳細は裏面

# 令和3年度 北海道開発事業費 国費要望額

## 要望区分別

単位：億円

要望区分	令和3年度 要望額 (A)	令和2年度 予算額 (B)	増減額 (A)-(B)	対前年度比 (A)/(B)
治山治水	101	101	0	100%
道路整備	343	272	71	126%
港湾空港等	10	13	▲2	81%
住宅都市環境整備	15	10	5	154%
水道廃棄物処理等	52	44	8	119%
農林水産基盤整備	737	482	254	153%
うち 農業農村整備	510	279	231	183%
社会資本総合整備	951	747	204	127%
推進費等	11	11	0	100%
北海道開発事業費 合計	2,220	1,680	540	132%

※端数処理の関係で合計と内訳、要望額・予算額と対前年度比が一致しない場合がある。

※令和2年度予算額には、臨時・特別の措置分を含む。(179億円)